

平成 29 年版果樹病虫害参考防除例について

病虫害防除の際には、効果的な防除時期と薬剤を選定し、体系的な防除対策を講ずる必要があります。その際には、主要な病虫害の発生生態や例年の発生状況をふまえた上で、薬剤耐性・抵抗性の発達を回避すること等も考慮しなければなりません。特に果樹は栽培期間が長く、防除体系が複雑です。そのため、(一社)茨城県植物防疫協会では、県監修により 6 作物 7 種の果樹病虫害参考防除例（以下、防除例）を作成し、農薬の適正使用および効果的な防除の推進を図っています。

平成 29 年版の各防除例について、平成 28 年版からの主な変更点を以下にまとめました（図）。利用にあたっては、これら変更点に十分に注意しましょう。また、過度の農薬散布を防ぎ、農薬による危害被害のリスクを下げるためにも、環境にやさしい防除技術を導入した上で、発生予察情報や自分の圃場における病虫害の発生状況を十分確認し、必要に応じた薬剤防除を行うようにしましょう。

なお、平成 29 年版は、平成 28 年 10 月 5 日現在の農薬登録内容に基づいて作成しています。登録内容は変更になる可能性がありますので、農薬使用時は必ずラベルおよび登録変更に関するチラシ等を確認して適正に使用して下さい。

露地赤ナシ無袋栽培

- ・[5月中旬：注意事項] のラービン水和剤 75 は製造終了となるため削除した。
- ・[新梢発育停止期（7月上旬）：注意事項] のチャノキイロアザミウマ防除について、ハチハチフロアブルより収穫前日数が短く、防除効果のやや高いコルト顆粒水和剤に変更した。
- ・[8月中旬] のロディー水和剤で登録変更があり、有効成分の総使用回数を変更した。

露地巨峰

- ・コテツフロアブルの使用時期が「収穫 60 日前まで」に変更になり、7月下旬の使用は困難であるため、[袋かけ直後（7月下旬）：注意事項] から削除した。
（[開花終期] のコテツフロアブルは引き続き記載する。）

雨よけ巨峰

- ・コテツフロアブルの使用時期が「収穫 60 日前まで」に変更になり、7月上旬の使用は困難であるため、[7月上旬：注意事項] から削除した。
（[落花後] のコテツフロアブルは引き続き記載する。）

ウメ

- ・マイコシールドは展葉初期と幼果期に記載されていたが、薬剤耐性の発達を抑えるため、[幼果期（4月中～下旬）：かいよう病] のマイコシールドをスターナ水和剤に変更した。

リンゴ

- ・ナミハダニに対する防除効果が低下しているため、[6月中～下旬：注意事項] のバロックフロアブルおよびスターマイトフロアブルを削除した。
- ・7月下旬から8月下旬に多発生するハマキムシ類、シンクイムシ類への対策のため、[8月上～中旬：注意事項] にディアナ WDG を追加した。

カキ・クリ

・大きな変更点はなし。

※ なお、「ハウスナシ」は現場での利用実態等をふまえて作成を中止した。

平成28年版

品目	時期，記載場所	薬剤名	変更内容 〔変更前の登録内容〕
露地赤ナシ 無袋栽培	5月中旬 注意事項欄	ラービン水和剤75	削除
	新梢発育停止期(7月上旬) 注意事項欄	ハチハチフロアブル	薬剤の入れ替え
	8月中旬	ロディー水和剤	有効成分の総使用回数 〔2回以内〕
露地巨峰	開花終期(6月上旬)	コテツフロアブル	使用時期 〔収穫14日前まで〕
	袋かけ直後 (7月下旬) 注意事項欄	コテツフロアブル	削除
雨よけ巨峰	落花後	コテツフロアブル	使用時期 〔収穫14日前まで〕
	7月上旬 注意事項欄	コテツフロアブル	削除
ウメ	幼果期 (4月中～下旬)	マイコシールド	薬剤の入れ替え
リンゴ	6月中～下旬 注意事項欄	バロックフロアブル スターマイトフロアブル	削除
	8月上～中旬 注意事項欄	—	薬剤の追加

平成29年版

変更後 〔変更後の登録内容〕
—
コルト顆粒水和剤
〔4回以内(但し、噴射は2回以内、散布は2回以内)〕
〔収穫60日前まで〕
—
〔収穫60日前まで〕
—
スターナ水和剤
—
ディアナWDG

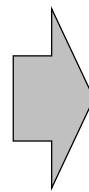


図 果樹病虫害参考防除例の主な変更点 (薬剤の追加・削除および登録変更があった箇所)